



光 和

10月号
練馬区立光和小学校
平成30年9月28日
校長 城崎 真



特別支援教室 たんぽぽルーム

今年度から特別支援教室という制度が練馬区で一斉に実施されることになりました。今までは通級指導学級という形で、対象の児童が他校へ通っていました。今年からは拠点校（谷原小学校）の教員が週に1〜2回通ってきて指導することになりました。

○どんな授業なのか？
授業の形態は、小集団指導と個別指導です。

小集団指導は、コミュニケーションと運動指導を行っています。コミュニケーションの指導では、話す・聞く・見る・学習姿勢の確立・ソーシャルスキルトレーニングなど、集団での活動に必要なスキルを、小集団のかかわりの中で学習します。運動指導では、運動機能（微細運動・粗大運動・協応運動・感覚運動機能）の向上や、指示理解、集団参加（勝敗結果の受け入れ・ルールを守る・協力する）などを学習しています。

個別学習は、見る・聞く・話す・読む・書く・着席・姿勢・集中持続・運動機能・言語コミュニケーション・対人関係・自己理解・アンガーマネジメントなどの中から、児童一人一人の実態・課題に応じた学習をします。

具体的なには、手先の巧緻

性を高めるのにトランプ等を使うこともあります。勝敗にこだわりすぎないよう前もって、勝つこともあれば負けることもあるということをは伝えてから始めます。トランプに限らずこれは何回やったらやめるとか、何分後までやるかなど事前に相談し約束をして始めると、うまく切り替えができるようになります。負けても怒らなかつたなど苦手なことができた時には、認める声かけをしています。

○先生方との連携
今年の夏休みには、光和小の先生方に向けて研修会を行いました。実際に行っている指導を先生方に体験してもらい、指導のポイントやクラスでも活用できる内容などを伝えました。

校内に教室ができたこと
によって、今までよりも担任の先生方と連携がとりやすくなりました。これからも私たちは、子供たちにとって今どきのような助けが必要なことに注目し、時々クラスでの様子も見に行きながら、担任や専科の先生方と連携をとって指導していきます。

（文責 たんぽぽルーム
高野いづみ）

四季折々

校長 城崎 真

家庭学習のすすめ
学校だより九月号で『家庭学習調査結果』を紹介いたしました。どのようにお感じになりましたでしょうか。

練馬区内各学校の学校だよりに目を通すと、「10分×学年+10分」を提唱している学校もありました。また、ある夏休みに沖繩の島を訪れたときのことです。夕食を食べる前に向かうと島内放送（夕べの鐘）が流れてきました。小学校高学年だろうと思われる児童の声でその放送は行われていました。島内放送を小学生がという驚きと共に、次の言葉に家族で再度驚かされました。
「帰宅したら、20分×学年の家庭学習を必ずしましょう。」

うちの二倍だ！一年生の20分は理解できても、六年生なら120分（2時間）です。しかも、この放送が流れているのは夏休みなのです。きっとこの島の子供たちは、高い学力を身につけているのだらうなあと思いました。

まずは、『宿題をやるのは当たり前』となってしまうのは、その時間に終えることができなかったものは、当然家でやる。当たり前のことです。そして、「家庭学習II宿題」と誤解しないでほしいです。「今日は宿題がないから勉強しない。」ということになります。

学校では、学校でしかできない多くの友だちと一緒に考えて、いろいろな考え方があつたことを学ぶことを大切に授業をしています。そのため、定着の時間を十分確保することが難しいのが現状です。せっかく学んだことを定着させるためにも、家庭学習を家族で取り組んでみてください。

（二〇一八年 十月）